

文京区立
森鷗外記念館

[特別展]

鷗 外 の 食

2023(令和5)年

4/8^[土]~7/9^[日]

〔会場〕文京区立森鷗外記念館

〔開館時間〕10時~18時(最終入館は17時30分) ※7月9日(日)は9時から開館

〔休館日〕4月25日(火)、5月22日(月)・23日(火)、6月26日(月)・27日(火)

〔観覧料〕一般600円(20名以上の団体:480円)

※中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料。文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き。その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

〔監修〕山崎一穎(跡見学園女子大学名誉教授、森鷗外記念会顧問)、江原絢子(食文化史監修/東京家政学院大学名誉教授)

〔協力〕公益財団法人味の素の文化センター、台東区立下町風俗資料館、東京大学総合図書館、文京ふるさと歴史館 ほか



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 TEL: 03-3824-5511
<https://moriogai-kinenkan.jp>



明

治維新後の日本は欧米諸国に追いつこうと富国強兵を目指し、西洋文化を取り入れることで近代化を推し進めました。食も例外ではなく、肉食や乳製品、パン食など西洋料理が、都市部を中心に次第に普及していきます。江戸末期に生まれ、明治・大正期を生きた文豪・森鷗外（1862～1922）は、大きく食文化が変わる時代にどのような食生活を送ったのでしょうか。

本展では、鷗外の日記や書簡、作品、家族の回想から、食に関するエピソードを集めてみました。鷗外は美食家ではなく、食への強いこだわりはありませんでしたが、医学者として食を重んじたのはもちろんのこと、知的探求心から食文化に関心を寄せていたようです。食をとおして鷗外を見つめると、家族を大事にする姿、質素な暮らしを好む性格、宴席に垣間見える幅広い人物交流、官吏だからこそ出席した御陪食、自身が訪れた料理店を舞台にした作品など、その人柄や嗜好、業績まで横断的に見渡すことができます。

食生活は時代や地域、環境、個人の好みによって異なりますが、今も昔も私たちにとって欠かせないものです。遠い存在に思える鷗外も、食を通じて身近に感じられるかもしれません。「鷗外の食」を一緒に味わってみませんか？

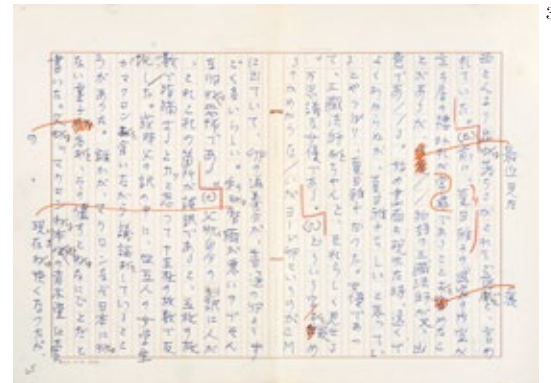
4

2

1



3



- 1 午餐献立 明治33年3月19日 味の素食の文化センター蔵 鷗外が出席した御陪食の献立。鷗外の日記にも記録されている。
- 2 鷗外筆森於菟宛葉書 明治37年12月18日 戦地にいる鷗外からの葉書。家族が送った物資（缶詰、菓子、酒など）が記されている。
- 3 森茉莉自筆原稿『ドッキリチャンネル』連載第248回 昭和59年発表。本郷にあった青木堂で買った「マクロン」（マカロン）を、鷗外の子どもたちも食べていたという。
- 4 鷗外自筆写本『膳部之事』 東京大学総合図書館蔵 鷗外の自筆写本（底本は不詳）。本膳料理や食事作法の解説と共に、彩色が施された挿図が目を惹く。

●展覧会関連講演会①●

「文京区をめぐる作家の〈食〉と文学」

【講師】 大本 泉氏（仙台白百合女子大学教授）

【日時】 6月10日（土）14時～15時30分

【会場】 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

【定員】 50名（事前申込制）

【料金】 無料（参加票と本展観覧券（半券可）が必要）

【申込締切】 5月26日（金）必着

●展覧会関連講演会②●

特別展会中に開催を予定しております。

詳細が決まり次第、当館HPやSNS等でお知らせいたします。

【申込方法】

往復はがき・往信に「〇月〇日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

Eメール：件名に「〇月〇日講演会」、本文に氏

名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、bmek-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
※ご不明点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

●ギャラリートーク●

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。

5月3日（祝）、5月31日、6月28日

いずれも水曜日14時～（30分程度）

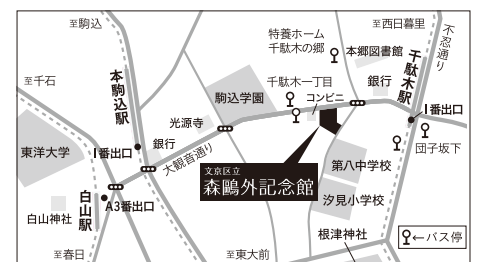
申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

※上記に加え、会期中に展示解説をYouTubeチャンネルにて配信予定。

●鷗外忌記念展示●

7月9日の鷗外忌（鷗外忌）にちなみ、鷗外「遺言書」の原資料を展示します。また、鷗外忌当日は9時から開館し、展示を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼントします。

「遺言書」展示期間：7月1日（土）～7月31日（月）の開館日



- 電車 東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分
東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分
都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分
JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分
- バス 都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分
都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分
Bーぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

表面図版：鷗外自筆写本『膳部之事』（東京大学総合図書館蔵）より



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 [電話] 03-3824-5511

[URL] <https://moriogai-kinenkan.jp>

※最新情報は記念館HP等でご確認ください。

●モリネカフェ● 10時30分～17時30分（ラストオーダー17時）

●次回展示● コレクション展「森茉莉・生誕120年（仮称）」 7月14日（金）～10月1日（日）予定